

## 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

奈良市立平城西小学校

教諭 藤川 由佳

### 1. 単元名 「シカと共に生きる奈良のまち」

### 2. 単元の目標

- 奈良のシカが天然記念物になった理由や世界遺産との関連について学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめることができるようにする。 (知識及び技能)
- 奈良のシカと共に生き、未来へと繋げていくために、自分達ができることを多面的に捉え、さらに奈良のまちを大切にするために自分達ができることを考え、表現することができるようにする。 (思考力・表現力・判断力等)
- 奈良のシカと共に生きていくために自分が学んだことを身近な人に伝えることにより、地域への愛着を育む。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、奈良のシカが「かわいいだけではすまされない」というキーワードをきっかけにして、奈良のシカを多面的に捉える活動を行う。

シカの問題に取り組んでいる鹿愛護会の方とオンラインで繋ぎ、活動されている内容や思いを知ることで、人とシカとの信頼関係が奈良のシカを天然記念物にしていることや、奈良のシカをより身近に感じることができると考えている。その上で、奈良のシカと共に生きていくために自分達ができること、将来的に自分達ができることなどを多角的に捉え、それらを身近な人へと伝え、奈良のまちを受け継ぎ、未来へと繋げることは奈良に住む自分達の使命であることを考えさせることをねらいとしている。

#### (2) 児童観

本学校の側には秋篠川が流れている。その川沿いには、桜の木が植えられている。これまで総合的な学習の時間に、校区に植えてある桜の木について学習してきたことがあった。地域の方をお願いされて川や桜への標語を作成したことがきっかけである。児童は学習して行く中で、地域の方が「秋篠川の自然を守る会」を発足させ 桜を植樹し、川の清掃行い何10年という年月をかけ今の桜があることを知った。児童の中から「これらを未来への子ども達につなげていくには、自分たちはどうしたらいいのか。」「川にはどんな生き物が生息できるようになったのか。」などさまざまな課題が浮かんできた。一人ひとりが課題を設定し、情報収集をし、まとめ・整理をし、自己を振り返る一連の学習活動を

行ってきた。そこで、本単元では、それらの学習も踏まえながらより、社会科で学習した奈良市をより身近に感じてきている今、これまでの学習を活かしながら、学習課題に対する考察や結論を協働的な学習も取り入れ深められるのではないかと感じている。

### (3) 指導観

本単元では、まず奈良のシカについて知っていることを発表させ、シカについて児童が思っていることを把握していきたい。その上で、「奈良のシカは、可愛いだけでは済まされない。」という理由に迫り、奈良のシカの歴史やシカ愛護会の方の話の聞く中で、「奈良のシカ」天然記念物になって理由を考えさせたい。その上で、「これからも奈良の街の景観を守るにはどうしたらいいか?」「自分たちが奈良のシカを共生していくためにはどうしたらいいか?」を考えさせる中で、1学期に学習した秋篠川の課題設定を再度見直し、自分達でより深い課題を設定し、探究していく学習活動を取り入れたい。なお、私が ESD の実践を行うために、私が特に大切にしたい視点は次の3点である。

#### 1. 身近な課題を取り上げる。

前述した秋篠川の事例では校区の課題を題材として取り上げ、地域の方々の取り組みを知ったことで、子どもたちが自分ごととして学習を進めていくことができた。私は身近な課題から自分たちができることを考えることが ESD の一歩につながるのではないかと考えている。

#### 2. 問題解決型の学習を行う

ESD は知識注入型の学習ではなく、問題解決型の学習で行う必要がある。そのためには教師には、ファシリテーターとなり学習をコーディネートして行く役割が求められる。また総合的な学習の時間の枠組みを超え、国語科や理科、社会科といった教科を横断するカリキュラムマネジメントも大切になってくるだろう。こうした役割を学校や教師が担う必要がある。

#### 3. ICT を活用する

これまでの調べ学習は図書館を利用したり地域の方に直接話を聞いたりすることが主な方法だったが、ICT を使えば情報収集は容易になり、地域の方だけでなく、その分野の専門家に話を聞くことも可能になる。自分の課題より深く学ぶことができるようになるのである。さらに学習後の発信の場も広がる ICT の活用で ESD が中身の濃い学びになって行くであろう。

この3つの視点を学習の中心に据えながら、学習を進めていきたい。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性・・・奈良にはこれからも大切にしていきたい景観、よさがいろいろある。

相互性・・・私たちの生活は、動物・植物など様々な要素がつながって循環している。

責任性・・・持続可能な社会の担い手として、シカと共に生きる奈良のまちを未来へ引き  
続き継いでいくのは、ここに住む自分たちの使命である。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力・・・シカと世界遺産、シカと天然記念物など様々な視点で、  
これまでの課題や解決してきた方法を多面的・総合的に考えることができる。  
他者と協力する態度・・・他者と協力して奈良のまちの景観を守り、シカとともに共生し  
て行くために自分ができることを考え実践する。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正・・・これまでも現在も、様々な人が奈良のまちとシカとの共生を願い、様々  
な取組を行ってきた。その思いをこれからも引き継ぎ、次の世代へと繋いでか  
ければならない。  
自然環境、生態系の保全を重視する・・・美しい奈良の自然や景観を大切に守っていくた  
には、自分たちの今の暮らし方を見つめ直す必要もある。

・達成が期待される SDGs

目標 11：まちづくり

目標 13：気候変動

目標 15：陸の豊かさ

#### 4. 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①奈良のシカが天然記念物 なった理由や世界遺産と の関連について調べてい る。	① 調べたことや資料をもとに、自分 で課題を見出し、シカとともに生 きていくために私たちができる ことを考えている。	① 奈良のシカについて 学んだことを、自分 達の身近な人に伝 え、奈良のまちを大 切にしていこうとし ている。
②学んだり、調べたりして 獲得した知識を、言葉や 図、絵などを用いてそれ らに関係づけながらまと める技能を身につけてい る。	② シカについてまなんだことや考 えたことを自分の言葉で表現し ている。	

5. 単元の指導計画（全12時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価 備考（・）
1	<p>○奈良のシカについて、知っていることを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足でしおりとお弁当を食べられたことがあるよ。</li> <li>・鹿せんべいをあげたことがあるよ。</li> <li>・奈良公園にたくさんいるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良のシカについて知っていることを積極的に発表させ、友達と共有させることで奈良のシカが自分達と身近なところに存在していることに気づかせる。</li> </ul>	
2	<p>◎「奈良のシカは、可愛いだけでは済まされない」と言われている理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シカが田畑を荒らして、農家の人困っているよ。</li> <li>・シカが人を襲うこともあるよ。</li> <li>・シカの数が増えすぎて、世界遺産の春日原始林の植物を食べてしまって問題になっているよ。</li> </ul> <p>○シカの問題に取り組んでいるシカ愛護会の方の話をオンラインで聞く。</p> <p>○奈良のシカの歴史やまなんだこと、調べたことを自分の好きな方法でまとめ、自分の言葉で整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムブックなどを使って、調べさせる。</li> <li>・奈良市でも住んでいる地域によって、シカに対して思っている気持ちは多様であることに気づかせる。</li> <li>・鹿愛護会の方に、シカの問題に取り組んでいることや思いについて話をしてもらいシカについての学びを深める。</li> <li>・クロムブックを使ったり、模造紙を使ったりして、自分がまとめたいことを自分の言葉でまとめさせるようにさせる。</li> </ul>	ア-②
3	<p>◎「奈良のシカ」が天然記念物になった理由を考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春日大社では神鹿と言われているらしいよ。</li> <li>・奈良の早起き伝説にも関係があるのかな。</li> <li>・奈良公園の風景にとけこんでいるからだと思うよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良のシカの歴史や世界遺産との関係も関連付けながら、奈良のシカが人とシカの信頼関係から天然記念物になっていることに気づかせる。</li> </ul>	ア-①

	<p>○「シカの白ちゃん」のお話を知る。</p> <p>○共生とは何かについて考える。</p>	<p>・絵本の読み聞かせを行うことで、奈良についてのさらなる理解を深める。</p> <p>・共生することの大変さを考えることで、その難しさや大変さを実感できるようようにする。その上で、鹿との共生について考えられるようにする。</p>	イ-①
4	<p>◎「奈良のシカ」と共に生きていくために、自分達はどのようにしたらいいのかを考え、身近な人に伝える。</p> <p>・奈良のシカのことを奈良に住んでいる人も観光に来た人も気にして欲しいな。</p> <p>・シカに餌をあげるのは、人とシカの良い距離が崩れて駄目だと知って欲しいな。</p> <p>・シカについて、正しいルールやマナーを広げたいな。</p> <p>○活動の振り返りをする</p>	<p>・今後の活動へと連続発展させていくために、自分ごととして考えさせ、身近な人へ積極的に伝えるようにさせる。</p>	イ-② ウ-①